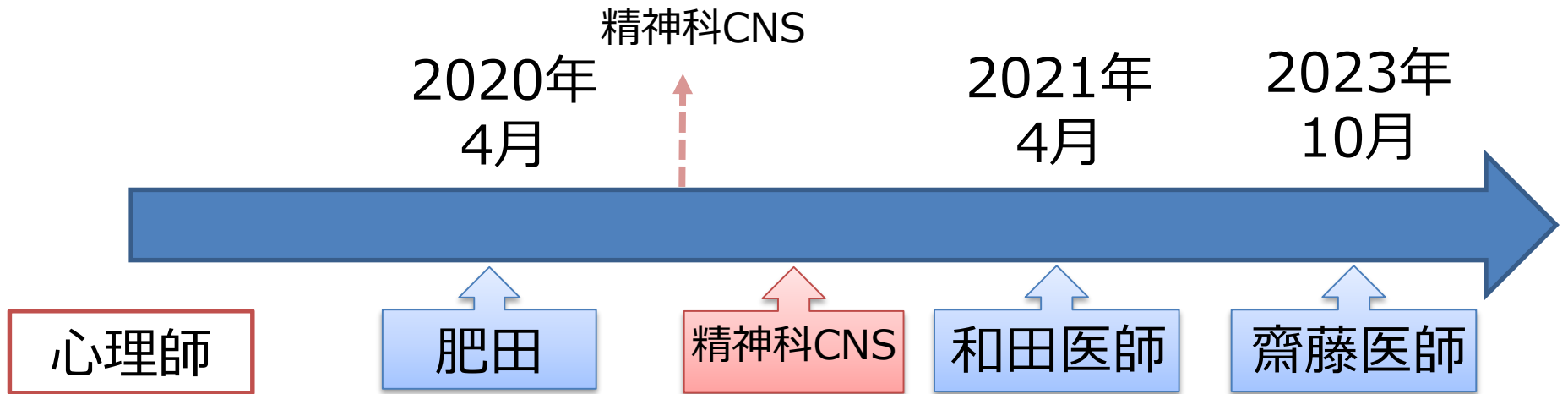




病床数 405床 (精神科病床なし)

救命救急センター 19床

診療科 24科



精神科リエゾンチーム (2023年11月現在)

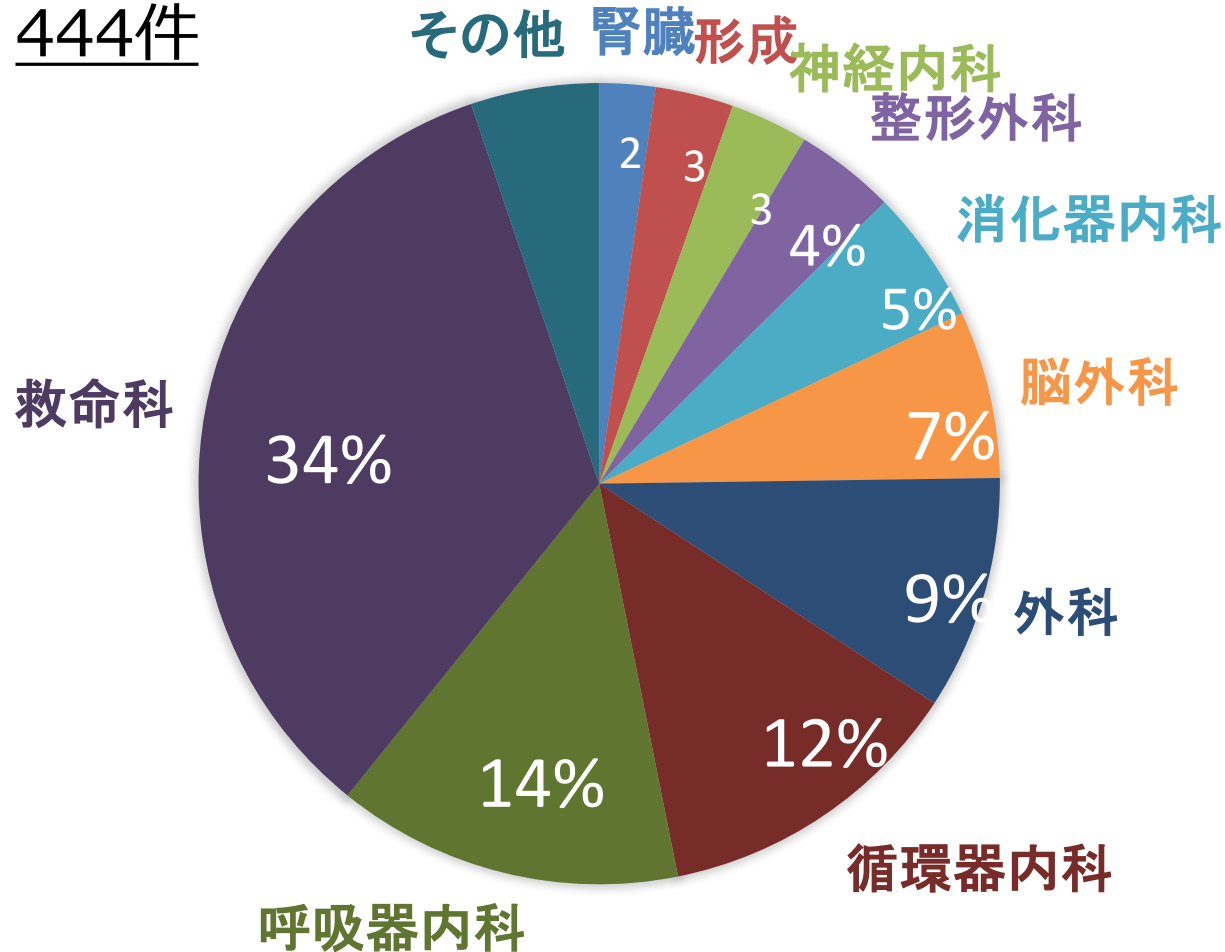
精神科医2名、精神科看護専門看護師1名、公認心理師1名、薬剤師2名
精神保健福祉士1名、老人看護専門看護師1名、認知症看護認定看護師1名

当院では、精神科リエゾンチームが、せん妄の予防や救命救急センターや一般病棟のメンタルケアに関わっています。

精神科リエゾンチーム介入状況

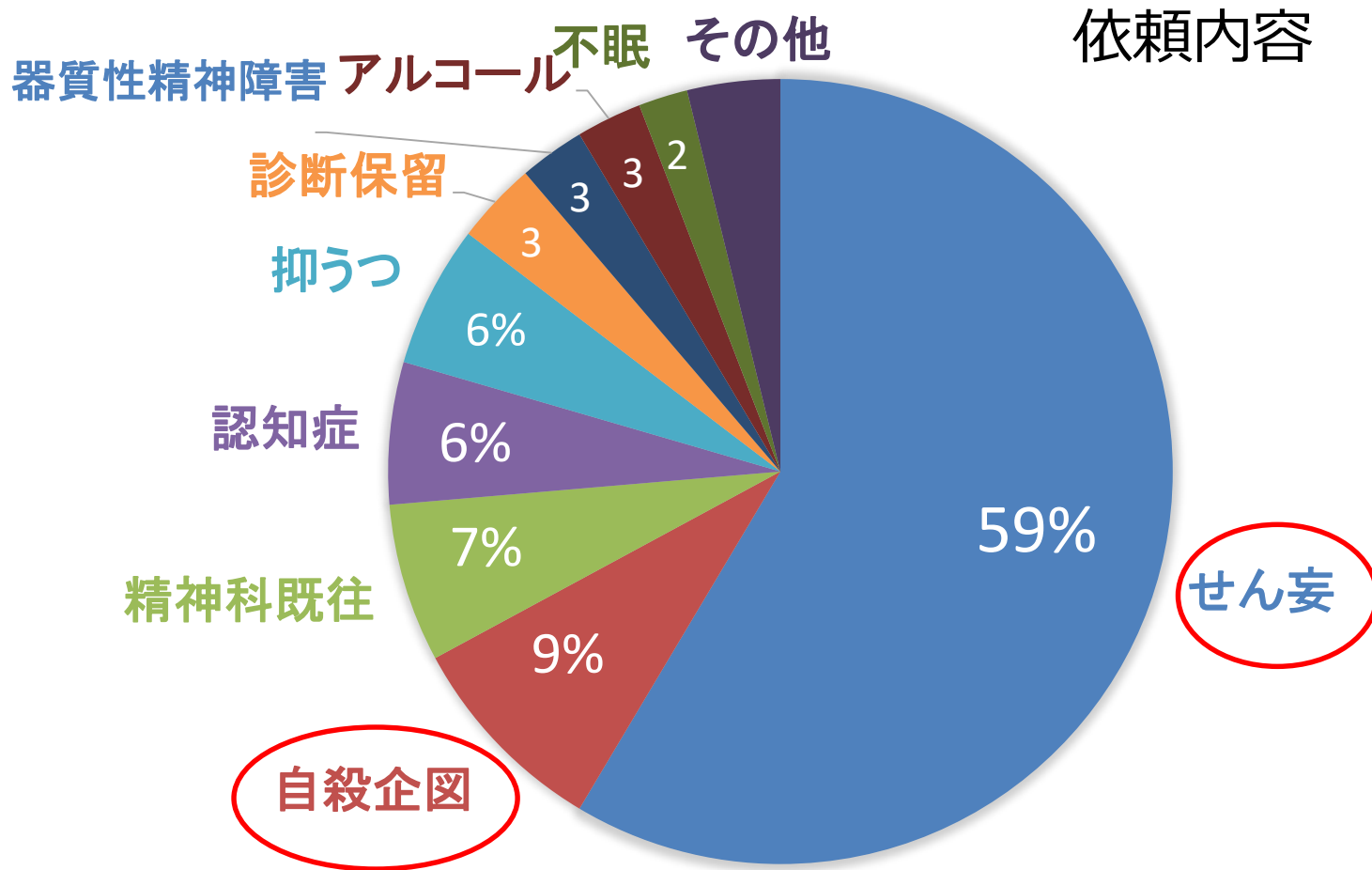
2022年度新規介入依頼件数

444件



当院では、多くの診療科から、精神科リエゾンチームへ介入依頼を受けており、不眠や抑うつ・せん妄などの問題に対して、認知症ケアチームや緩和ケアチームとのチーム連携を積極的におこない、メンタル面の問題解決に取り組んでいます。

精神科リエゾンチーム介入状況

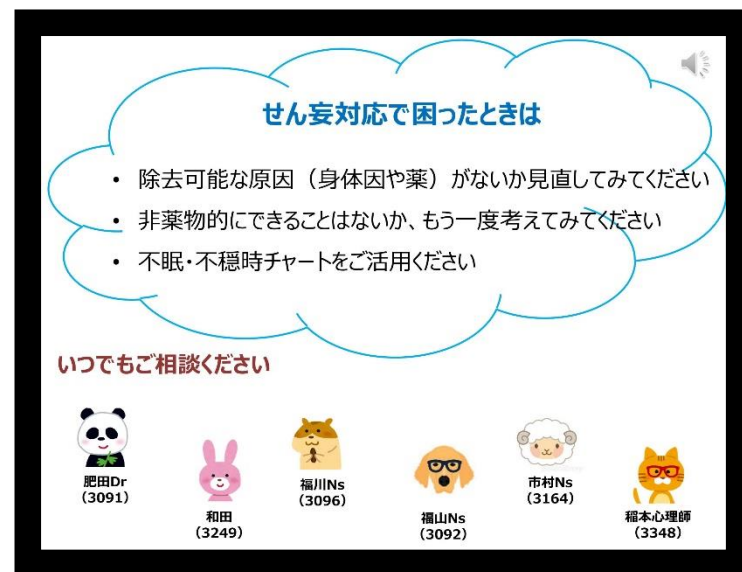
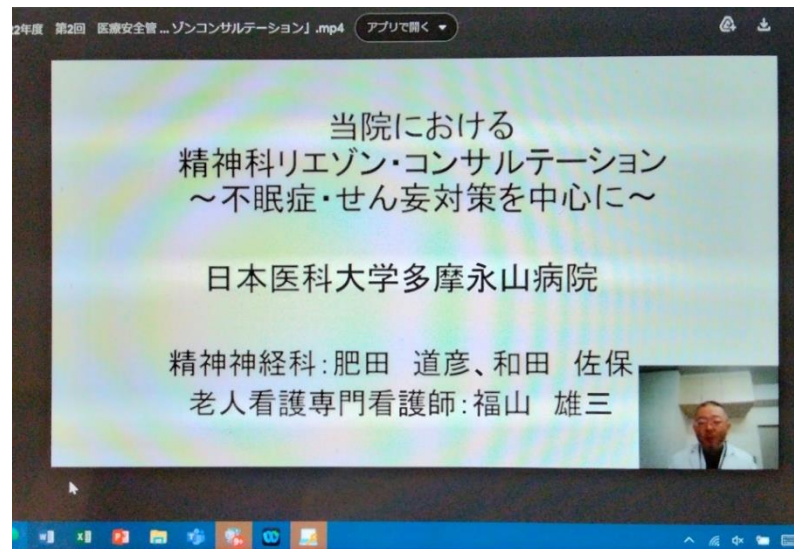


精神科リエゾンチームは、術後せん妄や夜間せん妄、自殺企図後に救命救急センターに搬送された患者さんへの対応など、さまざまなメンタル面の問題について、各病棟の医療スタッフと日々解決策を考え、良質な医療の提供を目指しています。

課題 1 職員の意識改革

2022年度 医療安全講習会

全職員を対象に
「せん妄」について解説



精神科リエゾンチームは、せん妄の予防に関する職員への啓蒙活動を定期的に行い、少しでも患者さんが安心して療養できるための環境づくりを行っています。

課題2 せん妄予防介入

2023年4月～

術後せん妄予防介入

月10例目標！

〈対象〉

- 70歳以上
- 消化器外科で4時間以上の全身麻酔下手術を受ける患者

介入内容

- せん妄に関する情報提供
- 術前の認知機能評価
- せん妄リスク薬の減量・中止
- 不眠・不穏時指示の見直し
- 術後せん妄評価
- 病棟スタッフの教育



精神科リエゾンチームは、術後せん妄の予防対策に積極的に取り組み、少しでも患者さんが安心して療養できるための環境づくりを目指しています。

課題3 クリニカルパスの改訂

クリニカルパスをめぐる悩み

- クリニカルパス内の「不眠・不穏時指示薬」がベンゾジアゼピン睡眠薬のままであった。
- 精神科で出した指示がクリニカルパス使用時に上書きされ、ベンゾジアゼピンが使われ、せん妄が生じてしまう。という問題が繰り返されていた。
- 100件以上のクリニカルパスを各診療科が委員会に申請し、改定が必要であった。



しかし、2023年7月頃より…

「附属4病院の病棟配置薬からBZPをなくす動き」

「クリニカルパスからBZP・Z-drugをなくそう！」

わずか4カ月で、

2023年11月、配置薬・すべてのクリニカルパスから、ベンゾジアゼピン系睡眠薬が0になる！！



日本医大多摩永山病院

精神科リエゾンチームによるせん妄対策

- ✓ 2021年7月より、せん妄対策として病棟配置薬の見直しと、「不眠時・不穏時初期対応チャート」の運用を開始した
- ✓ 全体としては、せん妄リスク薬の使用が減ってきているが、まだまだ病院全体の意識改革が必要な状況である
- ✓ 精神科リエゾンチームでは、今後もせん妄に関する職員への啓蒙や、積極的な予防介入を行っていきたいと考えている
- ✓ 睡眠薬の処方状況や、せん妄発症・増悪が抑えられているのか、転倒・転落等のインシデント件数が減少しているのかについて、さらなる検証が必要である